

第1回愛媛陸協記録挑戦会 兼 国体選考対象大会
での新型コロナウイルスへの対応について

一般財団法人 愛媛陸上競技協会

○大会の観覧について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、今回の大会については、参加選手、引率者のみの無観客試合とします。一般の方の観覧は、できません。

○競技会観戦方法につて

今シーズン、全ての競技会でマスクの着用、手指の消毒、をこまめに行っていただくことをお願いいたします。また、スタンドやスタンド下では「密」にならないように注意してください。

応援は全て拍手のみでお願いします。「声を出しての応援」・「集団での応援」は禁止します。また競技者が大きな声を出すなどの行為も同様に禁止します。

禁止例)

- 1：競技者の名前等を大きな声で叫ぶ。
- 2：フィールド種目の競技者が出した「行きま〜す。」などの声に対しての返答（「は〜い」等）。
- 3：競技終了後に「〇〇お疲れ〜」などの声掛け。
- 4：競技者が自身に気合を入れるため、または集中するための声出し。
- 5：競技場内において、リレー競技等のチームメイトへの応援。
- 6：その他、競技会運営に不要な声掛け

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のためご理解・ご協力をお願いします。

○参加選手

1 体温について

- ①2日間（大会前日及び大会当日）連続で体温が37.0度を超える場合は参加できません。
- ②大会当日の朝、はじめて37.0度を超えた場合についても参加を見送ってください。

※欠場者の参加料については必要ありません。当日、大会受付時に各所属の代表者が欠場者をお知らせください。

2 発熱以外にも咳やのどの痛み等の症状があり、体調が悪い場合についても参加を見送ってください。

3 マスクの着用を必ずお願いします。特に下記の場所・状況においては注意すること。

招集所、参加受付時、着替え時、会話時等
(なお、競技中、ウォーミングアップ中は着けなくてもよい。)

※招集所には必ずマスクをつけて来てください。

4 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施をお願いします。

※石けんや消毒等については各チームで必ず準備してください。

- 5 競技に参加する際は、各自で手洗い・消毒を済ませた後、招集所へ来ること。また、競技終了後、ただちに各自、手洗い・消毒を行うこと。
- 6 観客席や控え場所において、観客や選手同士との距離を2 m以上確保してください。
- 7 個人・またはチーム内で出たごみは各自自宅へ持ち帰ること。
- 8 記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。

※本協会は競技会に参加するすべての方々（競技者・チーム関係者・競技運営関係者等）の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任も負いません。

競 技 注 意 事 項

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、メイン競技場を使用することができる。（※補助競技場は使用できません。）バックストレート付近を使用することができるが、300m以上の競技が行われる場合は、係員の指示に従って練習すること。投てき競技（円盤投・ジャベリックスロー）の練習については、公式練習前直前のみ競技場内で練習ができる。係員の指示に従うこと。

○雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

2 スパイクシューズ等の制限について

①全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

②競技で使用するスパイク及びシューズについて招集所にて点検します。

※陸協HP掲載（日本陸連HP：WA規則第143条（TR5：シューズ）のルール再改定について）資料を確認してください。

③点検時に規格外スパイク及びシューズと判定されたシューズは使用できません。

※故意に規格外スパイク及びシューズを使用した選手がいた場合、トラック種目では同じ組で競技した選手全員、フィールド種目では同じ種目で競技した選手全員の記録が公認されません。

④規格外スパイク及びシューズについて、審判員の注意・指導に従わない競技者には、今後の競技会参加も含め、厳しく対応いたします。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

①アスリートビブス（ナンバーカード）は指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。

②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。

③3000m以上の種目は別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカードは招集所にて配布する。

4 選手招集について

- ①選手招集場所は、第2ゲート付近とする。
- ②選手招集開始・完了時刻は下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド種目	競技開始40分前	競技開始30分前

- ③ 招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④ 2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑥レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑦競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑧携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。

6 競技用具について

練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第2ゲート：300m300mH・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技

8 その他

- ①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ②応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③更衣室については、大会受付後方スタンド内通路に入って右側にあるので利用してもよい。
- ④記録は、記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。